

牛久市 農業委員会だより

2014年（平成26年）
第 29 号

発行所 牛久市農業委員会
住 所 牛久市中央3-15-1
電 話 029-873-2111(代)
再生紙を使用しています



稲敷郡農業委員会親善ソフトボール大会
(牛久市奥野運動広場)

***** 主 な 内 容 *****

- 農家訪問..... 2
- 会長挨拶
- 農業委員視察研修..... 3
- 女性農業委員便り
- 農地の転用には許可が必要です
- お知らせ..... 4
- 農業者年金に加入しましょう 他



農家訪問

栄養満点 新鮮たまご

奥原町の長沼良整さん、美知子さんご夫婦は現在九〇〇羽の成鶏から採卵しております。

以前は、乳牛や鶏も飼っていましたが、十八才の時から鶏一本化にしました。えさやりは、朝一回自動配餌で、卵は手で取り、洗卵選別機にかけて、きれいな赤玉の姿で出て来ます。

鶏は、暑さに弱く寒いと産みが少ないし、日光に当たらないとトサカが白くなり、卵に影響が出るそうです。

卵は各直売所や学校給食、自販機（自宅）などで販売しております。奥さんもお客さん対応に忙しく、良整さんは下根直売所の役員も務めており地域発展に貢献しています。

これから家族仲良く、美味しく卵を食卓に届けて下さい。



農業に夢を託して

安部真吾さん、亜紀さんご夫婦は、非農家出身で、茨城大学の山岳サークルで知り合い結婚され、女化町の高松さんの農地と住まいをお借りして、農業に従事して8年になります。

以前、亜紀さんは出版社に勤務しておりましたが、人生の幸せを考えた時、結婚して子供を授かり、農業を通して自然の恵みを受けた農家生活を送りたいと思ったそうです。農業経営は大根1.5ha、落花生1ha、じゃが芋40a、水稲1.5ha、筍など栽培しております。

地力を上げるため、緑肥を入れて良い品物が出来る様に頑張っています。又、真吾さんは、UFOクラブに所属し、今年度会長を引き受け、若きリーダーとして活躍が期待されています。



新年のご挨拶



牛久市農業委員会

会長 山越 康義

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日頃より、農業委員会の運営・活動につきましてはご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、経済のグローバル化に伴い、農畜産物輸入の増加や福島第一原子力発電所による風評被害も加わり価格の低迷がつづき、担い手の減少や将来不安などにより農業者の生産意欲は後退しております。さらには、追い打ちをかけるようにTPP交渉参加により農業はさらに厳しいものとなることが予想されます。

しかし、食料は国家の安全、経済の安定した成長を維持するためにも、自給率を高めなければなりません。国は、耕作放棄地の解消と農地の集積、新規就農の実現に向けた施策の事業などにより停滞した農業を活性化しようとしております。この機会の利用如何によって地域の農業環境が大きく変わる可能性があります。

このような中、農業委員会は農業者の公的代表として、農業関係機関、団体等と連携を図りながら、かけがいのない農地や担い手を守り、地域農業の振興に向けた取り組みをまいりますので今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



農業委員視察研修

10月30日(水)、長野県佐久市農業委員会の耕作放棄地対策「薬草トウキ栽培」について視察研修を実施。

経緯として、平成22年に長野県農業会議が耕作放棄地対策として、薬草のトウキ栽培の試験を行うとし、佐久市農業委員会も急遽行うこととなったと説明があり、準備不足の中試行錯誤しながら開始し、現在にいたっているとの事。



実績として、平成22年産の収量は、5 a 三河田地籍50.3

キロ、5 a 岸野地籍11.9キロ、平成23年産の収量は、約10 a

瀬田地籍603.2キロ、約5 a 大沢中山間地地区57.3キロ。

栽培結果として、定植・除草剤の散布時期など技術的指導が必要。粘土質の土壌にはなじまない。

専用の収穫機が必要。地区によっては、10 a 当り300キロ以上の

収量が見込め25万円程になる。連作は好ましくない。

霜に強い。

霜に強い。

展示圃場を設置する事により、栽培に関しある程度分かった。問い合わせが2件あり薬草部会を紹介。合併前の望月地区で30年ほど前より既に栽培がおこなわれており、JA佐久浅間の薬草部会として活動している。調整機や掘り取り機を管理し、栽培希望者には薬草部会への参加を誘導。

牛久市農業委員会として

も、今後調査研究の必要性があり、耕作放棄地対策として、検討していきたい。

女性農業委員便り

7月31日いばらき女性農業委員の会総会が開催され、60名の女性委員が誕生しました。

また、10月4日には関東ブロック研修会が埼玉県内で開かれ、明るく生き甲斐のある農業と地域づくりに根ざした視点に立ち、女性としての資質向上、会員相互の連携等を目的とした有意義な研修でした。

三県から三名の方の取り組みが発表され(茨城代表 中山みつ子さん)、私達に意欲と希望を与えてくれました。



農地の転用には許可が必要です

—農地の無断転用をなくそう—

農地転用とは、農地を農地でなくすこと、すなわち農地に区画形質の変更を加えて住宅用地や工場用地、道路、山林などの用地に転換することをいいます。また、一時的に資材置場等に利用する時も転用となります。

市街化区域内では届出、その他の区域では許可が必要です。

農地は農業生産の基盤であり、食料の生産はもとより、景観・環境保全など、重要な機能と役割があります。農地はかけがえのない財産です。農業委員会では、無断転用や不法投棄がないよう、毎月2回定期パトロールを実施しています。

皆様も、農地のことで何かお気づきになりましたら、お近くの農業委員または農業委員会へご連絡をお願いします。



お知らせ



賃借料情報

| 区分 (10a当り) | 賃借料標準額 |
|------------|----------------|
| 田 | 10,000~20,000円 |
| 畑 | 3,000~8,000円 |

農作業標準賃金

請負作業標準賃金

| 項目 作業名 | 単位 | 料金 | 備考 |
|-------------|---------------|----------------|----------------------------------|
| 深耕 | 10a | 10,000円 | |
| ブラウ耕 | 10a | 6,000円 | |
| デスク耕 | 10a | 3,500円 | パワーデスク |
| 普通ロータリー | 10a | 5,000円 | 畑 |
| 耕起 | 10a | 5,000円 | 田 |
| 代かき | 10a | 6,000円 | |
| 育苗 | 1箱 | 700円 | 硬化苗 |
| 畦塗り | 1m当たり | 35円 | |
| 田植え | 10a | 6,500円 | 条件により料金割増 |
| 育苗~田植え | 10a | 18,000~20,000円 | |
| 刈取り~脱穀 | 10a | 16,000~20,000円 | 倒伏などの条件により上限とする |
| 刈取り~調整 | 10a | 30,000~35,000円 | 倒伏などの条件により上限とする (袋詰めまで) |
| 乾燥~調整 | 玄米60Kg 当たり | 1,800円 | (袋詰めまで) |
| 粃すり | 玄米60Kg 当たり | 1,000円 | (/) |
| 麦刈り~調整 | 10a | 22,000円 | 倒伏などの条件により上限とする (袋詰めまで) |
| 甘藷マルチ張り | 10a | 10,000円 | 薬剤散布含む |
| 甘藷マルチ張り | 10a | 5,000円 | 薬剤散布なし |
| 落花生マルチ張り | 10a | 4,000円 | |
| 肥料と土壌改良剤の散布 | 10a | 2,500円 | 資材の運搬は含まない 片方のみの場合 は1,500円 |

農業者年金に加入しましょう

~農業者の方なら広く加入できます~

1. 農業者年金は、長い老後を安心して暮らすための公的年金制度です
2. 「積立方式」の長期的に安定した年金制度
3. 農業に従事する人が広く加入できる
4. 意欲ある担い手に保険料助成
5. 80歳まで保証がついた終身年金
6. 保険料が自由に選択できる(月額保険料2万円が基本)
7. 税制上の優遇措置がある



加入の申し込み、お問合せは最寄のJAまたは農業委員会に!

農業委員会委員選挙 人名簿登録申請書の 提出を忘れずに!

農業委員会委員選挙人名簿は毎年一月一日現在で、牛久市に住所のある資格要件を備えている人からの申請に基づき、選挙資格を調査したうえで作られます。名簿に登録されないと投票もリコーの請求もできませんので忘れずに申請をお願いします。

農地を相続したときは

農業委員会へ届け出が必要です

手続きは農業委員会へお問い合わせください

農業者の暮らしと経営に役立つ

『全国農業新聞』をご購読ください

全国農業新聞は農業の総合専門紙で、わかりやすい農政解説、農業経営に役立つ情報を満載、盛りだくさんの内容が掲載されています。
発行 毎週金曜日 購読料 月600円

●購読希望の方は、
牛久市農業委員会事務局
(☎873-2111 内線3701) へ
お申し込みください。



編集後記

日ごとに寒さが増し、いよいよ冬本番です。

毎年自然の脅威をまざまざと見せつけられています。自然と共生しながら、取り組み、厳しい農業に打ち勝つ努力も必要です。

少しでもお役に立つよう農業委員一同邁進してまいります。

編集に協力して頂きました皆さんに心より御礼申し上げます。



編集委員

中山みつい

木村 幸子

塩澤 和子